高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

使用教科書：（高等学校 言語文化（第一学習社））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】言葉によって、自らの考えを効果的に表現するための力を育む。
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的思考能力、共感性、コミュニケーション能力を伸ばし、自らの考えや思いを広める力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって我が国の言語文化の担い手であるという自覚をもち、言葉のもつ価値を認識する。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
			語	書	読					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・これまでの経験と、言葉がもつ力とを、関連させて考える力を育む。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言葉に対する自らの考えを持ち、それを表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自らが言語文化の担い手であるという自覚を養うとともに、言語文化に親しもうという感覚を身に付ける。	・指導事項 言語文化に親しむ ・教材 p.10～11 古文の学習 ・一人1台端末の活用 等 Teamsを用いた、リフレクション シートの活用	○			【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・自らの社会生活に根付いている国語の知識や技能から、言語文化についての巻を持ち、それを周囲に効果的に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言語文化に親しもうとしている。	○	○	○	2
	B 単元 【知識及び技能】 ・歴史的仮名遣いの決まりを理解し、古文を読むための力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典作品が持つ価値について、本文の性質や特徴から読み取る力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歴史的仮名遣いを理解し、古文作品の面白みに触れようという感覚を身に付けさせる。	・指導事項 古典作品（古文）に親しむ 歴史的仮名遣いのきまりを理解する ・教材 p.12～15 児のそら寝 古文を読む ために1 ・一人1台端末の活用 等 Teamsを用いた、リフレクション シートの活用		○		【知識・技能】 ・文章の意味が文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典を読むために必要な文法的なきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 【思考、判断、表現】 ・文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさや価値について、積極的に読み取ろうとしている。	○	○	○	17
	定期考査						○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 ・助動詞などの古文を読むために必要不可欠な文法事項の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・同一出典の作品を読み比べることで、それぞれが持つ価値や特性を理解し、それを言語化して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を鑑賞し自らの考えを持ったうえで、他者との交流を通して学びを深めようという姿勢を身に付けさせる。	・指導事項 古典作品が持つ価値を考える 古典文法のきまりを理解する ・教材 p.16～19 絵仏師良秀 古文を読む ために2 ・一人1台端末の活用 等 Teamsを用いた、リフレクション シートの活用	○			【知識・技能】 ・古典を読むために必要な文法的なきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 【思考、判断、表現】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、それぞれの価値について自らの考えを持ち、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自らの考えを進んで発表し、また、他者の考えを共有することで学びを深めようとしている。	○	○	○	13
定期考査						○	○		1	
2 学 期	D 単元 【知識及び技能】 ・文中で用いられている語句を理解することで、語彙を増やす。文化的背景を理解することで、時代と作品と関連性について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の叙述を読み、話の展開を理解するとともに、本文を様々な解釈する力を養成する。 ・自分の解釈を表現して伝えるとともに、他者の解釈を受容しながら、思考を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を鑑賞し自らの考えを持ったうえで、他者との交流を通して学びを深めようという姿勢を身に付けさせる。	・指導事項 様々な解釈可能な作品を題材に、自分の解釈を形成し、表現し、伝え合う。 ・教材 「現代の国語」教科書（「高等学校現代の国語」第一学習社）を副読本として使用 夏目漱石『夢十夜』 ・一人1台端末の活用 等 Teamsを用いた、リフレクション シートの活用		○		【知識・技能】 ・文章中で用いられている語句の意味や表現手法を学ぶことで、語彙を増やしイメージを豊かにしている。文化的背景と叙述の内容の関連性を把握している。 【思考、判断、表現等】 ・内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えながら、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ・上記の知識にもとづいて、自分自身の解釈を形成し、他者に伝えるように表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に自分の解釈を形成した上で、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。	○	○	○	11
	定期考査					○	○		1	